

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	企画部
	課室名	秘書政策課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	この事業は、国や他の地方公共団体でも実施しており、当市においても、他の模範となる行為を顕彰し、奨励することで市民に新たな活動を促進させ、活力ある地域づくりを行うことに効果があるため、重要性は高い。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを供給できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	国や他の地方公共団体においても実施している事業であり、事業の目的が市政振興に寄与したものや他の模範となる市民を市長が表彰するものであるため、市が実施することが適当である。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	市民表彰であり、他の方法への変更は不可能である。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	新市発足後、毎年、10名程度の功労者を顕彰しており、優れた活動を啓発することによって、活力ある地域づくりが進められている。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	本事業は、毎年度被表彰者を選考し決定するものであり、年度によって増減があるが、原則として現行規模を維持する必要があるため。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	国や他の地方公共団体においても実施している事業であり、他の模範となる行為を顕彰し、奨励することで、市民に新たな活動を促進させ、活力ある地域づくりを行うことができるため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 2015 E-mail @bungo-ohno.jp	